



# Inclusion & Diversity

## + Gender

# Activities and changes in Japan

### アクセントアのインクルージョン&ダイバーシティについて

アクセントアのインクルージョン&ダイバーシティは、会社全体の経営戦略です。すべての活動にインクルージョン&ダイバーシティの考え方が組み込まれています。

日本では 2006 年に女性活躍推進から取り組みを始めました。現在では、ジェンダー・イコリティ、障がいのある方、性的マイノリティ、クロス・カルチャー、ウェルビーイングの 5 つの領域を柱に、取り組みを推進しています。

基本的には全社員にアンコンシャスバイアスのトレーニングを受けてもらっています。こちらを受けることによって、自分自身のバイアスに気づくと同時に、無くすことが難しい考え方の癖を、ビジネスの重要なシーンや意思決定の際に振り返って、あまり悪い影響がないようにすることが重要です。それを踏まえて（社員に）ビジネスやコミュニケーションを推進してもらうようにしています。

### どのような思いで活動されていますか？

インクルージョン&ダイバーシティは、社内外でコラボレーションをするうえで、非常に重要な要素です。社員がコラボレーションをしやすいするための環境づくりとして、きちんとインクルーシブな環境が整っているかというのを見えています。

また、個人がどう考えているのかがとても重要ですので、毎年サーベイを行って皆さんがどのように感じていて、日々それがきちんと機能しているのかなどを把握しながら進めています。活動を長く続けておりますので、私自身、色々な取り組みが当たり前のように感じやすいですが、やはり社員一人ひとりが、新しくアクセントアに入ってきた方が、そして新しくアクセントアとコラボレーションする方が本当にやりやすいと思っているのか、コラボレーションをしやすい環境になっているのかを意識するうえで、インクルージョン&ダイバーシティがきちんと実現できているかを気にしながら取り組みを進めております。

### 活動に関わることで起きた気持ちの変化を教えてください

社員と家族のような気持ちで取り組みに臨んでいるのがより大きな変化です。今までの、自分だったらとか自分が良ければいいという感覚よりも、会社全体で本当にインクルーシブなチームになることがいい状態であるというのを感じながら行っています。

## アクセントアとして目指す姿について教えてください

お互いがすごく重要で、互いに尊重しながら敬意を持ってお仕事に臨めることが重要だと思っています。社会全体としても、最近是个に着目するということが色々言われていますが、アクセントアの6つのコアバリューの一つである Respect for the Individual（個人の尊重）が実現していること、そして、社員それぞれが活躍するのを望んでいます。

やはり、皆さんが同じように大事だということをきちんと意識しながら、誰かが誰かのための犠牲になるようなことのないような、より良い環境づくりをきちんと行って、みんなでコラボレーションをしていきたいと思っています。

## Gender Equality

### 活動内容を教えてください

まず、アクセントアでは男女ともにキャリア育成を強化しております。4 R スポンサーシッププログラムを行っています。それぞれの方がご自身に合ったキャリア、実際にあったお客様、実際にあった役割、実際にあったスキルバックグラウンドを持てるように、きちんとチェックをして、全部をオールグリーンに進められるようにしております。

また、プロフェッショナル研修として実際にマネジメント（キャリア）レベルごとに必要とされている研修が色々ありまして、クラスごと、役割ごとに様々な研修を行っています。アクセントアはライフタイム（長い期間）でお仕事される方が多いので、お子様が生まれた時や、実際にご両親を介護することも含めて全体をフォローするような形で、男女共通のプログラムとして行っています。

また、ジェンダーという意味でいうと、国際女性デー

（International Women's Day）には毎年イベントを行っています。アクセントアグローバルの取り組みの中の一部として、日本を中心に行っているのですが、ここで色々な学びや気づきになるような取り組みを行っています。国際女性デーではありますが、男女共に参加いただけますので、そういう観点で様々な気づきがあるといいなと考えています。

### 活動を続けてきて、社内でもんな変化を感じましたか？

まず、女性がとか男性がという意味であまり極端に差がない形で、弊社のどの部分のリーダー層にも女性がいるのが当たり前になりました。よくありがちな、女性だとこんな仕事に向いているとか男性だとあんな仕事に向いているという偏りがないので、どこに行っても女性が活躍するんだな、男性と同様だねという風に考えていて、それがだんだん普通になってきています。男性に着目しますと、長い方は男性で（育休を）1年取ったりすることが普通になってきています。皆さんがそういう形で自分自身のライフイベントに臨めるのだなと男女共に思っているのが、大きな変化だと思います。

Copyright © 2023 Accenture  
All rights reserved.

Accenture and its logo are  
trademarks of Accenture.